

西原町の健診がより受けやすくなりました!

平成24年度 特定健診

●受診する健診を確認しましょう●

年齢	20歳～39歳 平成25年4月1日時点 昭和48年4月2日～平成5年4月1日生まれ	40歳以上の方 昭和48年4月1日以前生まれの方		
加入している保険	全ての医療保険	西原町国民健康保険	長寿医療保険(75歳以上)	国保・長寿医療保険以外
受診券の送付	4月上旬に個別送付します。			各保険者へお問い合わせください。がん検診の受診券は、4月中旬に町から個別送付します。
健診内容 受け方 自己負担額	<p>〈内容〉特定健診と同様(診察・採血・尿検査など) ※がん検診は対象外(受け方) 以下の①～②のうち、いずれか1つを受診してください。</p> <p>①集団健診(予約不要) (各字公民館や中央公民館で受ける) 自己負担額: 1,300円</p> <p>②個別健診(要予約) (指定医療機関で受ける) 自己負担額: 1,900円</p>	<p>〈内容〉特定健診・長寿健診(診察・採血・尿検査など) がん検診(胃・肺・大腸)</p> <p>〈受け方〉 以下の①～③のうち、いずれか1つを受診してください。</p> <p>①集団健診(各字公民館や中央公民館で受ける) (日曜日の健診のみ予約受付あり) ※がん検診(胃・大腸・肺)も受診可能 自己負担額…特定健診: 無料 がん検診: 胃 900円、肺 200円、大腸 500円 ※70歳以上・生活保護受給者の方は、集団健診のみ料金が免除されます。</p> <p>②個別健診(指定医療機関で受ける)(要予約) ※一部の指定医療機関では、がん検診も一緒に受診可能 自己負担額…特定健診・長寿健診: 無料 がん検診: 医療機関によって異なる</p> <p>③人間ドック(指定医療機関で受ける)(要予約) 自己負担額: 12,300円</p>	<p>特定健診 各保険者により特定健診の内容や料金、受け方、受診期間が異なります。加入している保険者へお問い合わせください。</p> <p>がん検診(胃・大腸・肺) ①集団検診(日曜日のみ予約受付あり) (各字公民館・中央公民館で受ける) 自己負担額: 胃 900円、肺 200円、大腸 500円</p> <p>②個別検診(要予約) (指定医療機関で受ける) 自己負担額: 医療機関によって異なる</p>	
健診日時	<p>①集団健診 4/22(日)・6/17(日) (その他の集団健診日でも受診可能)</p> <p>②個別健診 H24.4/16～H25.3/30</p>	<p>①集団健診 「西原町の健診総合ガイド」参照</p> <p>②個別健診 H24.4/16～H25.3/30(※がん検診は、H24.5/1～)</p> <p>③人間ドック H24.5/1～H25.3/30</p>	<p>がん検診 H24.5/1～H25.3/30</p>	
<p>※詳しい日程、指定医療機関については、4月上旬に送付する「西原町の健診総合ガイド」をご参照いただくか、福祉部健康推進課へお問合せください。</p>				

☆複数の受診券が、1枚にまとまりました(4月送付予定)☆



すべての健診を一枚の受診券で受診できます。
(受診できる健診は個人によって異なります)

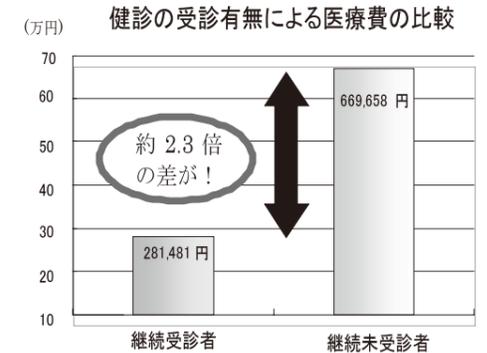
平成24年度 特定健診・がん検診等 受診券			
受診券	整理番号	受診期間	自己負担額
特定健診		平成25年 3月30日まで	ガイド参照
人間ドック			
がん検診			
<今年度受診可能な健診>			
特定健診(生活習慣病)		がん検診等	
基本	詳細	胃	肺
		子	乳ク
		大腸	乳マ
		子ク	大腸ク
			乳視
			乳超
			乳超
			肝炎

特定保健指導が始まります!

お金で考える健康問題

○医療費、2倍以上の差が・・・

右図は、健診を継続して受けた方と受けていない方の平成20・21年の2年間の医療費を比較したものです。健診の受診有無によって2年間で2倍以上の差があります。

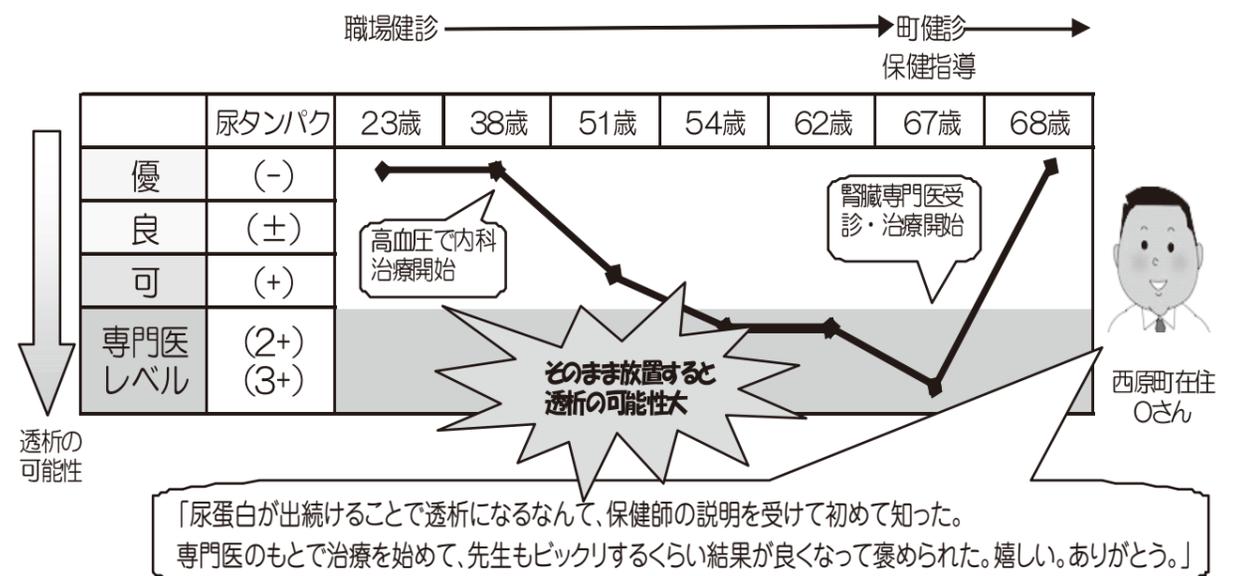


○健診を受けて社会保障費を抑えよう!

私たちの所得に占める介護費、医療費等の社会保障費の割合が年々上がってきています。介護になった原因を見てみると、脳血管疾患や心疾患、糖尿病などの生活習慣病が多くなっています。つまり、1年に1回は健診を受け、自分の検査値を把握することが社会保障費の抑制につながります。しかし西原町の特定健診の受診率は、平成22年度37.1%、平成23年度35%前後(見込み)と国の基準65%を大きく下回り伸び悩んでいます。このままでは、今後の医療費・介護費の増加を止めることができません。自分のため、家族のために…**元気な今こそ健診を受ける意味があります。**

西原町では、健診を受けるだけでなく、みなさんが自分の検査値を判断できるようになってほしいという思いから、特定健診・または人間ドック受診後に、保健師・栄養士が結果の説明を行っており、糖尿病にならないためのアドバイスや透析の予防などで効果を上げています。

○保健指導を受けた方の声



お問い合わせ 福祉部健康推進課 ☎945-4791